

《Dr. Bill, What inspired AROGA? : ビル博士、アロガを始めたきっかけは?》

Shawn : アロガを始めようと思った理由をみんなとも知りたがっています。

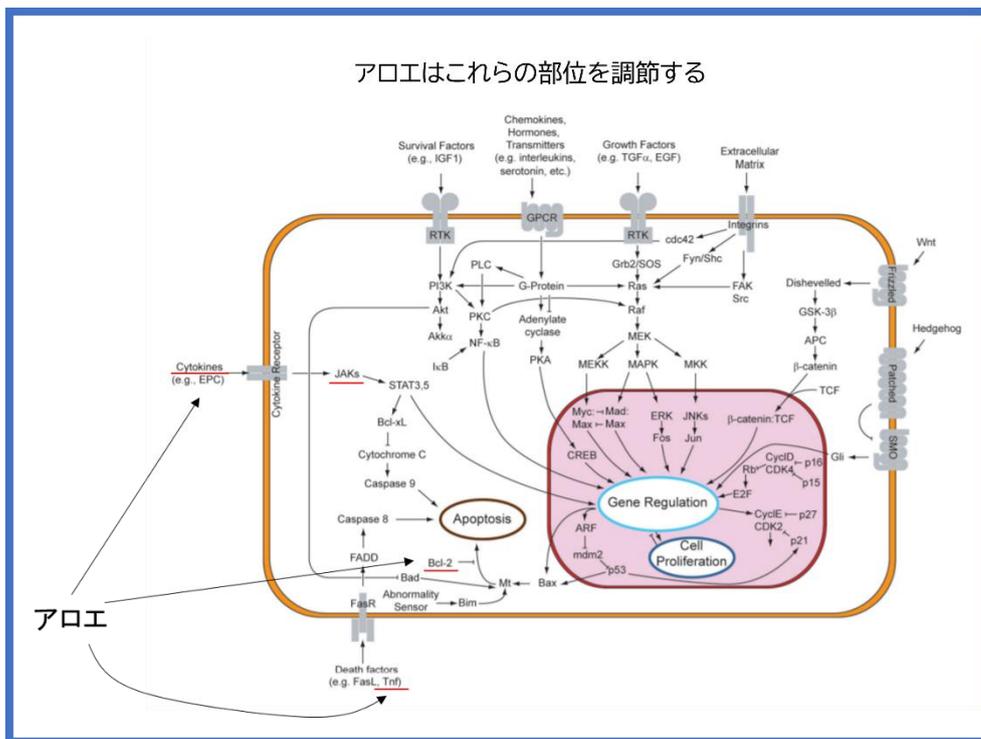
Dr. Bill : その質問はよく聞かれるので、ウェブでシェアして役に立てばと思います。

アロエの活性成分を見つけようと 1981 年にスタートし、1983 年にアセマンナンを単離しました。それから、アセマンナンを使って、薬品を使わない創傷治癒製品を開発しました。いまでも全国的に使われているトップ製品として販売しています。

アロエのアセマンナンはマクロファージを強力に刺激する物質です。刺激されたマクロファージが行うことのひとつが、TNF α を放出することです。

マクロファージは細胞の所へ行って、見て、もしその細胞に欠陥があれば TNF α を放出してアポトーシスへと真っすぐに誘導し、自らその細胞を消化します。

アポトーシスの最初の経路はたった 25 年前に解き明かされ、ここに示したようないくつかの異なる経路が発見されています。私がアセマンナンを発見した後のことです。



そして私たちは、アセマンナンがアポトーシスに対して何かをしていることを知りました。アセマンナンは毒性なしにすべてのがんに働き、免疫促進物質として動物のがんに対しては承認を得て効果を示していたわけです。未知の経路を一生懸命研究し、FDA に提出し承認を得ました。ただアセマンナンが機能してただけで、作用は明確ではありませんでした。

Shawn : つまり、うまくいったことはわかったけれど、それがどのようにしてもたらされたかは正確にはわかっていなかったんですね。

Dr. Bill：薬を使うときに薬の作用機序まで知る必要はないけれど、もし知っていれば使い方の選択の助けになります。マンナンでも同じですが、私たちはマンノースを体内で作ることはできても、体が使うマンノースの70%は食べ物から摂取することが知られています。

Shawn：マンノースを作ることができるということは、その能力を持っているということですね。

Dr. Bill：その生成経路は持っているけれど、むしろ食べ物から摂取しているんです。アロエにはマンノースがたくさん含まれていて、サイトカインを作る手助けをします。

サイトカインは細胞のホルモンです。細胞はお互いにコミュニケーションしていて、多くの細胞は自分自身を活性化します。例えば、私たちはワクチンを開発しましたが、この場合はJAKが活性化されました。JAK経路がオンになると、すべてのリンパ球が増殖し、ナチュラルキラー細胞が増え、CD4に対するCD8が増え、B細胞が増殖します。そしてB細胞は抗体を作ります。

この図はこれらの経路がどのように使われ、アロエが私たちのために何ができるかを説明しています。それは、抗体を作る適応免疫と、生まれつき持っている自然免疫を助けることです。

マクロファージは白血球のひとつで、創傷治癒のあらゆる段階を指揮します。

マクロファージを応援することができれば、マクロファージは体中を回って、マクロファージ細胞の表面にあるマンノース受容体を使ってウイルスや細菌、真菌を見つけます。

マクロファージがアセマンナンに出会うと、これは細菌だ、と驚き、アセマンナンを分解してエネルギーとして使います。もし、細菌も、真菌も、ウイルスもいなければマクロファージはただいるだけですが、どれかひとつでもいれば、マクロファージは食物のエネルギーを使って動き出し、サイトカインを作り始めます。

またアセマンナンは、最初に発見されたBcl-2を阻害します。Bcl-2については後日話しますが、Bcl-2はB細胞白血病のことで、細胞のアポトーシスを停止させます。Bcl-2をブロックすれば、すべての細胞は生きていられません。がん細胞も生きていられません。

そこで、いかにしてこれらの経路を活性化できるかを考え始めました。脳内の神経細胞や肝臓の細胞などすべての種類の細胞は修復する機能を持ち、もし私たちが正しい食べ物を食べれば再生するのわかりました。すべての経路は体に備わっているのですから、私たちは正しい経路を活性化するのに役立つ栄養素を提供しているのです。体はこれらの栄養素を修復に使う準備は出来ているのです。

これらの経路は、犬にも猫にもハエにでさえも存在します。実際、ヘッジホッグ経路は、ハエのような動物を用いて経路をノックアウトすることで、何をしているのか発見されました。

現在、50万件ほどのアポトーシスに関する記事があります。アロエに関する記事もありますが、コストがかなりかかります。実験を行うための機器は高価で数百万ドルの費用がかかり、高度にトレーニングされた専門家も必要です。だから、ひとつの記事ごとに数百万ドル以上のコストがかかるでしょう。私は約40報の論文を出しましたが、5000万ドルを費やしました。80年代当時でこれくらいでしたから、今ではもっと多くかかるでしょう。

大金をつぎ込むのは、細胞を修復することができるからです。もし修復できなければ細胞は除去されます。

そうすれば、今日のような有毒な抗がん剤の必要ななくなります。抗がん剤はすべて、細胞にダメージを与えます。毒性があるからです。食べ物はこれらの異なる経路に対して働きかけますが、私たちはそのような食べ物を食べていません。

私たちは食べ物に手を加えてしまいました。例えば、トウモロコシのように、周りに耐性があるように変えてきました。トウモロコシを分子レベルで変化させなければならず、多くの問題の原因になっています。たぶんラウンドアップに曝された姿をテレビで見たことがあるでしょう。

とにかく私は、異なる経路を活性化し、より利用可能な食べ物を見つけようと思っています。

Shawn：アロエだけで終わらせたくなかったんですね。

Dr. Bill：そうです。私たちが調べて分かったのは、ほとんどの国には異なるこれらの経路を活性化する食べ物があります。みんなが健康になるためには、エデンの園に行く必要があるかもしれないよね。神が言うように、知恵の樹を食べたからにはエデンの園には永遠に住めない、としても。いずれにしても、健常人では平均 600 億個の細胞が除去されています。全く問題がない細胞ではなく、なにか問題があり、いつかはがんになる可能性があるものが、健常人で毎日 600 億個除かれていて、幸いにも健康を維持しています。

平均的な健康な人は、アポトーシス経路を使って、毎日600億個の異常細胞(欠陥細胞やがん細胞)を除去しています。がん細胞が最初にできた時に除去してしまえば、がんになることはありません。世界中の科学者たちは、これらの食物経路を活性化する薬を開発しようとしています。「食品は経路を安全に調節しますが、薬には通常、良い効果だけでなく、副作用もあります」

メイヨークリニック

がんとは、異常な細胞が制御不能に分裂し、正常な体組織に浸潤して破壊する能力を持つことを特徴とする多数の疾患のうちのいずれかを指します。がんは多くの場合、全身に転移する能力を持っています。

メイヨークリニックによれば、がん細胞がひとつあるだけで、がんになることはありません。がんとは、制御不能に分裂し、正常な体組織に浸潤して破壊する能力を持つことを特徴とする多数の疾患のうちのいずれかを指すと定義しています。

化学療法を使うがんになったときに必要なものは、これらの経路がなにをするかを神がデザインしたように、ひとつひとつのがん細胞を処理する食物なんです。適正な食物を食べないと、細胞を除去できず、多様な動きをしてコントロールできなくなります。

がんと呼ばれるものや、すべての自己免疫疾患、神経疾患、すべてはアポトーシスの欠陥が原因です。これが開発した理由です。そして驚くようなことを目にしています。

Shawn：初めから設計されている仕事をするために必要な、体に取り入れるべき食物を見つけて、仕事に必要なものが欠けているのだからそれを助けようと。それがアロガが見つけたものなんですね。

Dr. Bill：私はエデンの園のように食物を食べることで人を永遠に生かしておけたらなあと思っています。

Shawn：それはいいですね。ビル、ありがとうございました。

この資料を提供するにあたって
動画の内容を理解するため、個人的に翻訳したものです。
誤訳等があっても責任は負いかねます。 作成 堺晶子